

3月議会報告

新しい時代を見据えて

2月28日～3月14日 定例会開催

(予定では3月11日で閉会予定でしたが、最終日に発生した東日本大震災の影響により14日まで会期の延長をしました。)

平成23年度の町の予算を可決しました。

今年度の予算などを審議する定例会が、2月28日から3月14日まで開かれました。

一般会計と特別会計を合わせた当初予算の総額は59億2,640万円で、前年度の当初予算と比べて1億5,059万7千円(2.61%)の増です。

<<<平成23年度予算>>>



◇一般会計予算 可決(全員賛成)

歳入歳出それぞれの総額は、30億5,500万円です。前年度よりも3.74%増えました。

<歳入>

主な歳入の増は、地方交付税4,000万円、国庫支出金4,075万5千円、町債5,760万円などです。主な歳入の減は、町税5,069万6千円、財産収入2,517万7千円、地方消費税交付金600万円などです。

<歳出>

主な歳出の増は、農林水産費4,011万9千円、民生費3,479万円、議会費3,238万4千円などです。主な歳出の減は、土木費3,474万6千円、消防費1,306万6千円などです。

議会費が増えたのは、議員年金の廃止にともない、過去清算の費用及び、現在受給している退職議員への年金支給や現職議員が今後受給する退職一時金・年金支給分のためです。



◇国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算 可決(賛成多数)

総額を12億8,215万2千円とするものです。

前年度の当初予算よりも2,415万5千円(1.92%)の増です。

本会計の大部分を占める保険給付費は、適正な保険給付を行うため、国からの積算方法や国保連合会の医療費実績額などを基に算出したものです。また、医療給付費分、介護納付金分、後期高齢者支援金分に係る保険税の公平な賦課を実施します。



◇国民健康保険事業特別会計(施設勘定)予算 可決(全員賛成)

総額を1億5,714万9千円とするものです。

前年度の当初予算よりも434万4千円(2.69%)の減です。

“かかりつけ医”として、住民のニーズに応じて安心な医療が受けられるよう、地域の医療機関の協力体制を強化し、在宅医療の実施を予定しています。



◇下水道事業特別会計予算 可決(全員賛成)

総額を1億8,717万9千円とするものです。

前年度の当初予算よりも546万円(2.83%)の減です。

本年度は2.01haの事業を予定しています。計画事業の効率的な整備を図り、更に有効的な事業を推進するため公共下水道事業認可変更業務委託を実施します。また湯河原町との広域公共下水道事業については、処理場関連の污泥焼却施設の実設計画委託及び改修工事等を予定しています。



◇真鶴魚座・ケーブ真鶴特別会計予算 可決(賛成多数)

総額を1億8,816万6千円とするものです。

前年度の当初予算よりも1,402万8千円(6.94%)の減です。

真鶴魚座及びケーブ真鶴では、より一層集客力を高め、満足していただけるサービスの提供ができるよう、季節ごとに小イベントを開催予定です。